

トリス（クロロプロピル）ホスフェート産業の現状

関税・外国為替等審議会
関税分科会特殊関税部会
経 済 産 業 省

トリス(クロロプロピル)ホスフェートについて

トリス(クロロプロピル)ホスフェート(TCPP)とは

- TCPP (Tris (Chloropropyl) Phosphate) はリン系の難燃剤であり、主に硬質ウレタンフォーム用難燃剤として用いられる無色から淡黄色透明の液体。
- 黄リンに塩素及び酸素を反応させて生成されるオキシ塩化リンと、酸化プロピレンを一定の条件下で反応させることで、TCPPとなる。
- 大八化学工業が国内唯一のTCPP生産者。製品名「TMCPP」として販売を行っている。

<TCPPの外観>



【写真提供：大八化学工業】

TCPPの用途

- TCPPは、硬質ウレタン断熱ボードを製造する際に難燃剤として添加するほか、現場施行吹きつけ発泡ウレタンに難燃剤として添加するなどして使用され、建築材に広汎に利用されている。
- このほか、冷蔵庫や自動販売機、保冷設備等に使用される断熱材主原料に混ぜられて用いられることもある。

トリス(クロロプロピル)ホスフェート産業の現状

TCPP産業の現状

- TCPPの生産には黄リンが不可欠であるが、黄リンの生産国は、中国、米国、ベトナム、カザフスタンの4ヶ国に限られる。特に中国は最大の生産・需要を占めており、優位性を有する。
- このような背景の中、TCPPを含むリン系難燃剤の市場は中国系による寡占が進み、我が国でTCPPを生産するのは大八化学工業ただ1社。
- 仮に中国による不当廉売により国産TCPPが無くなれば、住宅等の建築に不可欠であるTCPPが中国にのみ依存することとなることが想定される。

まとめ

- ダumping輸入の事実や国内産業に対する実質的な損害の事実があることから、国内生産者は、中国産TCPPに対する課税を申請。
- 中国産の安価なTCPPを引き合いに、国内生産者は製造原価に見合った生産ができず、利益が確保できていないなど、安価な貨物の輸入が本邦産業に悪影響を及ぼしており、上記産業の現状も踏まえれば、暫定措置の発動による早期保護の必要がある。